

近畿大学病院で細菌培養検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院中央臨床検査部（以下、当科）では、「*Candida glabrata* におけるカスポファンギンの薬剤感受性検査の検討」という臨床研究を行っています。そのため、当院にて細菌培養検査を受けられ、*Candida glabrata* が分離された患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

Candida glabrata は、重篤な感染症（深在性真菌症）の原因となる重要な微生物です。本研究では、当院において血液培養から分離された *Candida glabrata* について、抗真菌薬であるカスポファンギンおよびミカファンギンに対する薬剤感受性や、これらの薬剤に対する耐性に関与する遺伝子 (*fks* 遺伝子) の変異を解析します。*Candida glabrata* の遺伝子解析は千葉大学医真菌医学研究センターで行われます。菌株は厳重に梱包後にゆうパックにて送付します。あわせて、対象となる患者様の臨床背景についても検討します。そのため、当院で細菌培養検査を受けられた患者様のうち、血液培養から *Candida glabrata* が分離された方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。匿名化された個人情報は共同研究施設の千葉大学医真菌医学研究センターにも提供いたします。

② 利用する情報の項目

- 患者背景（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報）、臨床検査結果（血液検査、培養検査、病理検査、画像検査）
- すべての情報は診療録から取得する

③ 利用又は提供を開始する予定日

医学部長による実施許可日（2026年6月2日）

④ 情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

近畿大学医学部 医学部長 西尾 和人

⑤ 提供する菌株・情報の取得の方法

菌株は厳重な梱包の上、ゆうパックにて送付する。すべての情報は診療録から取得する

⑥ 提供する情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

近畿大学病院 古垣内 美智子

⑦ 利用する者の範囲

近畿大学病院：古垣内 美智子、久斗 章広、森田 泰慶、吉田 耕一郎
千葉大学医真菌医学研究センター：渡邊 哲、新居 鉄平

⑧ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑨ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合には、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。なお、拒否する申し出をされた場合、情報の利用を停止できない場合（研究成果の公表後など）がありますのでご了承ください。

⑩ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 中央臨床検査部 古垣内 美智子
電話：072-288-7222（内線：1113）

以上